

不思議な 値段

なにげない毎日にも、
数学の不思議なことが…。
君はウソを見破れるかな？



もうすぐ卒業式です。お母さんは小学校最後の卒業式を美しく写したいと考えています。そこでお母さんはイチローくん ジローくん サブローくんの3人の子供達にそれぞれ2000円ずつ渡して、「SDカード4GB」「USBフラッシュ8GB」「カラープリント専用用紙B4」の買い物を頼みました。

3人は実際の値段より少し高かったことにして、お駄賃をもらおうと話合っています。さて実際に上手くいくでしょうか。

イチローくんは「お母さん、はいSDカード4GB、1,800円だったからお釣り200円ね。」と言ってSDカードとお釣りの200円をお母さんに渡しました。ジローくんは「お母さん、はいUSBフラッシュ8GB、1,700円だったのでお釣り300円ね。」と言ってUSBフラッシュとお釣りの300円をお母さんに渡しました。最後にサブローくんです。「カラープリント専用用紙B4だよね。1,600円だったので、ハイお釣り400円。」と言ってカラープリント専用用紙とお釣りの400円をお母さんに渡しました。

お母さんはしばらく考えて「〇〇ちゃん、値段と消費税の計算が合わないわよ。」と言いました。さて、3人の中でウソがばれてしまったのは誰でしょうか？

商品価格は消費税込価格を支払うものとします。消費税は5%とし1円未満は切り捨てるものとします。実は消費税込の価格(数値)にはある不思議な規則性がかくれています。

- 一般的な規則性について考えてみてください。日本の税制度や世界の消費税について調べてみるのも面白いでしょう。新しい発見が待っていますよ。

